

他人の気持を思いやることのできる聡明さは、心も身体も美しい「日本橋美人の魅力」。現在「江戸しぐさ」が静かな話題になっているのも、相手を尊重し思いやる気持ちから。豊かな教養に裏付けられた、たおやかな感性をもつ女性は輝いています。日本橋美人ブランドの価値観の根底にある江戸の優美な感性について、江戸思草の第一人者である越川禮子氏に伺いました。

江戸思草



江戸しぐさ語り部の会主宰
越川 禮子氏

日本橋美人の教養

三つ心、六つ躰、九つ言葉、十二文、十五理

江戸の人々は、子どもたちの教育を江戸とても大切に考えていました。単に知識を詰め込むだけでなく、人間として本来備わっている「思いやり」を基本として感性を育み、本当の意味での教養、すなわち江戸思草を身に付けさせることに力を注ぎました。

当時の親は成育段階に応じて、それ相応の育て方をするのが肝要だと考えていました。「三つ心、六つ躰、九つ言葉、十二文、十五理(ことわり)で未決まる」ということわざがあります。数え年三歳ぐらゐまでの子どもたちには、まず想像力や感受性などの「心」を豊かにするようにしました。親のしぐさ日々の行動を見せ、みずみずしい感性に訴え、見取らせ、見よう見まねで覚えさせていきました。

六歳のころには、身体を使った人として当たり前のしぐさを何度も何度も繰り返して当り前を覚えていきました。物心つくころには、おとなの中で場の雰囲気を感じ取り静かに我慢することを教え、寺子屋で話を聞く時は師匠の目を見つめることを覚えさせました。

「九つ言葉」では、どんな人に対して失礼のない一人前の挨拶と世辞を教え

優

「十二文」と言われる年頃には、両親の代わりには手紙や注文書がまがりなりにも書けるように訓練されたといえます。武士の子であれば元服の十五歳は、経済や科学などの森羅万象が暗記ではなく実感として理解できるようになる、子育てにおける最後の段階でした。

江戸寺子屋の教育

寺子屋には、商家の跡を継ぐ「男あるじ」や「女あるじ」を養成する、いわばエリート校ともいえる「江戸寺子屋」がありました。読み書き算盤(そろばん)に加えて「見る」「聞く」「話す」「考える」という実践的な教育が行われました。考え方を表現する日常の立ち居振る舞いや、人を見抜く洞察力などの「思草」も身に付けさせました。

昭和二十年代にアメリカが日本の歴史や社会の研究をした折に、寺子屋の教育についても徹底的に調査が行われたようです。現代でも企業でよく使われるブレインストーミングや社員研修などで用いられるロールプレイングの手法が、江戸の寺子屋で使われていたことが分かります。例えば子どもに「商家の主人」という役割を演じさせ、お客様の苦情を処理する言葉を述べさせたり、弁解のため

日本橋美人と江戸思草

の書状を書かせたりしました。寺子屋で実社会の役割を演じ、その経験から人間としての素養を育んだ子どもたちは、やがて「江戸思草」を身に付けた立派な商人に成長していったのです。

私たちの日常から消えつつある「江戸思草」は、単なる礼儀作法やマナーではないことがお分かりいただけたと思います。日本橋を中心とする大都市・江戸で暮らすために、商人たちが作り上げ洗練していった哲学と行動、それが江戸思草なのです。

日本橋の街を歩いている。心も身体も美しいと感じられ、真に「日本橋美人」と呼ぶにふさわしい凛とした緊張感がある女性に出会えます。そのような素敵な女性性、人間関係の中で相手を思いやることを育み、優れた伝統文化に触れることで心を豊かにし、自らの五感を研ぎ澄ましていきます。多くの女性たちが江戸から学ぶ姿勢と日々の努力を惜しまず、江戸しぐさを身に付けた魅力ある日本橋美人になっていただけるように願っています。

如庵と茶道具



財団法人三井文庫常務理事・文庫長
由井 常彦氏

内側から自然と溢れてくる知性。そこから醸される品格が、心も身体も美しい「日本橋美人を生みます」。

江戸より受け継いできた叡智に学ぶことから誕生しました。日本橋に受け継がれてきた伝統的な美学について、由井常彦三井文庫・文庫長に解説していただきました。

三井記念美術館収蔵品に見る三井家の美

国宝「如庵」を救った三井家

三井記念美術館のなかには、茶室「如庵」内部を再現した展示室があります。

茶道文化の歴史を語るうえで最も貴重な遺産のひとつである如庵は、元和四(一六二八)年に織田信長の実弟で、名高い茶匠・織田有楽斎によって京都東山建仁寺に建てられました。点前座側の「有楽窓」や腰壁の唐紙などの趣向に富んだ茶室は、愛知県犬山市に移築され現存しています。

現在まで受け継がれてきた背景には、三井家の知られざる尽力があります。明治から昭和にかけて三井家当主であった三井高棟(たかみね)が、如庵を入手して東京麻布今井町にあった三井邸内に移築したのは、明治四一(一九〇八)年のことです。昭和一一(一九三六)年に如庵が国宝に指定されたのち、戦争による被害を免れるために高棟は、神奈川県大磯にある別荘に移転させました。戦争



茶室展示室



重要文化財 大名物 唐物肩衝茶入(北野肩衝)



唐物竹組大茶籠

写真提供：財団法人三井文庫、三井記念美術館

知

北野肩衝

三井家に数多く伝承されている茶道具の中でも、稀代の名品とされるのが重要文化財「大名物 唐物肩衝(かものかたつき) 茶入(北野肩衝)」です。もとは足利義満、義政など足利将軍家の所蔵品を伝承する「東山御物」の一つに数えられていました。その後天正十五(一五八七)年に、史上最も名高い「北野大茶会」が開かれた折に出品され、豊臣秀吉の目に留まったという話も伝えられています。

三井家が北野肩衝を手に入れたのは江戸時代中期になってからのことですが、現在では三井記念美術館の名宝として所蔵されています。

数寄の玉手箱「茶箱と茶籠」

ち運びができる小型の箱や籠などに、喫茶用の茶道具一式を組み込んだものを茶箱、茶籠と呼びます。茶人が自らの好みで選び仕立てた茶箱、茶籠は、茶の湯をたしなみつくした人が行き着く趣味世界ともいわれ、江戸末期から近代において三井家では、とくに好んでおりです。

三井記念美術館では、三井家から寄贈された茶箱と茶籠を約三〇点所蔵しています。いずれも三井家の当主や夫人たちが自らの趣味にあつた箱や籠をあつらえ、それに茶碗や茶器、茶巾筒、茶杓、菓子器など好みに合った道具を探し、こだわりの袋や裂(きれ)で包んで収めた、まさに「数寄の玉手箱」と呼ぶにふさわしい茶道具です。

北三井家八代三井高福(たかよし)愛用の大きな茶籠には、たたまれた更紗の下に服紗笠敷などの裂や紙類が入り、その下に茶道具、香道具が四十余点ぎっしりと詰まっています。小型の道具でこれだけ質の高いものを集め得るのは、財力と然るべき蒐集のルートがなければ難しいことであり、三井家ならではの逸品と言えます。

三井記念美術館でこれらの名品の数々を鑑賞して、豊かな心の世界を味わえる日本橋美人になっていただきたいと思います。



資料提供：公文教育研究所蔵
「風流てら三井屋はしめけい」の図
(歌川豊国)より



◆ 日本橋美人提唱者 山田晃子が語る日本橋美人ブランド ◆

でくく美人の姿が数多く描かれています。浴衣の専門店堀井は、古いものと新しいものを巧みに調和させながら個性豊かなデザインを創造することで高い評価を得ています。ゆかたを通して日本橋美人の心の美しさをより鮮明に表現したいと考え「日本橋美人ゆかたシリーズ」を二〇〇六年に提案しました。

選定するベースになったゆかたは、図案を型紙に彫るところから、明治以来の染色方法、仕立に及ぶまですべて職人の手仕事で作られています。その中から日本橋で働く女性たちで組織された「日本橋OLクラブ」のメンバーが豊かな感性で選び出した十二点。いずれも草花や和の文様から生まれる情緒に包まれ、洗練された上品さが漂っています。

日本橋美人が内面に持つ気品をさりげなく引き立たせ、魅力を醸し出す日本橋美人ゆかたを上手に着こなし、粋なまちなちをおしゃれに楽しんでみませんか。



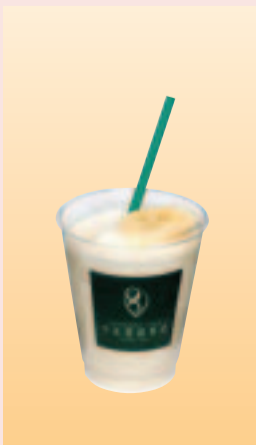
◆ 日本橋美人提唱者 山田晃子が語る日本橋美人ブランド ◆

明治時代には、日本橋室町に当時最先端の洋館三層建て店舗を出し、我が国初の果物専門店として地位を築き、のちには初の「フルーツパラー」を創業しました。

日本橋美人提唱者、山田晃子著「日本橋美人」きれいを磨く34のエッセンス」の中で紹介された「山田流スベシヤルドリンク」をヒントに誕生したのが「日本橋美人S OYシエイズ」シリーズです。「畑のお肉」と言われる栄養豊富な豆乳をベースに、季節ごとに厳選した果物とヘルシーなクリーム(パニラソフト)を組み合わせたハルシーな創業ドリンクは、新本店1階「カフェ・ディ・フーズ」のみの限定販売。

豆乳には「美容のビタミン」といわれるビタミンB群や、アンチエイジングに役立つビタミンE、鉄分やオリゴ糖も豊富なので、女性の強い味方です。豆乳と相性の良いストロベリー、青りんご、マンゴーなど栄養素が詰まった旬のフルーツは、みずみずしい女性美を保つエキス宝库とも言えるでしょう。

「心も身体も美しい」日本橋美人の爽やかな健康美に必須の逸品です。



千足屋総本店

shop data
● 日本橋町22-1-2
● 営業時間 9時~19時
● TEL 03-3241-0877
● http://senjiky.com



天保五(一八三四)年、埼玉で槍術の道場を開いていた大島弁蔵が、青物や果物を小船に積んで川を下り、日本橋人形町で水菓子(甘い果物)や野菜を売る店を開いたのが始まりです。道場があった千足の郷(現越谷市)にちなんで「千足屋」を名乗りました。

堀井株式会社

shop data
● 本社 日本橋久松町5-3
● 営業時間 9時~17時30分
● 定休日 土・日・祝日
● TEL 03-6964-7181(代)
● http://yukatan.net



浴衣といえはばお祭り、花火大会、夕涼みなど夏の風物詩です。平安時代に寺院の浴場で「湯帷子(ゆかたばり)」として使われていたのが語源といえます。江戸時代に銭湯が登場して庶民の間に入浴の習慣がひろがることも、湯上り着として木綿の浴衣が普及しました。浮世絵にも浴衣姿

寺子屋

江戸時代に学習の需要にこたえていたのが、寺子屋すなわち手習塾です。寺子屋の起源は室町時代後期までさかのぼることができ、寺院での子弟教育が始まりといわれています。江戸時代中期以降、僧が主として寺院で教えていましたが、後に下級の武士・浪人・医者・神主・村役人など、さまざまな立場の師匠が登場し、庶民を対象とした教育の場として、急速に普及しはじめました。当時の教育は個別指導で、師匠は子どもたちの成長に合わせて、それぞれに手習いのお手本を与えました。

また、教養を積んだ女性には武家奉公などの道も開けるため、幼いころから女子専門の寺子屋で躰(しつな)や作法を学ぶ子どももいました。

寺子屋は、「読み・書き・そろばん」の教育のみならず、証文作成や手紙の書き方など、生活に必要な知識を学ぶための場でもありました。



参考文献：石山秀和「寺子屋での教育」(『江戸時代館』小学館、所収)

資料提供：公文教育研究所蔵「幼童席書会」(歌川国芳)より

創る・日本橋美人

日本橋美人ブランドの精神の根底にある創造の歴史を紐解き江戸の人々の美しさをあなた自身のものにしていきます。

人々の英知が創った街

人々は時代の風を吸収しながら自らの英知で新しい街を創造してきました

五街道

江戸時代中期に東海道・川崎の名主などを務めた田中丘陽が幕府に対して「民間省要」という意見書を具申し、その中で交通路の重要性を次のように説いています。「国土における道路は、あたかも人体の血管のように大切なもので、一瞬もやむことなく運行されている。国を治める働きとして、これに過ぎるものがあるだろうか。国を安んじ、万民の交易のための、第一の国家の重要な施設である。」徳川時代に、道路の意義をこれほどの確に表現している文章が残っていることは驚くべきことです。

江戸期には幕府直轄の東海道・中山道(中山道)・日光街道・奥州街道・甲州街道という五街道およびその付属の街道と、各藩の大名に統治がゆだねられていた脇街道がありました。中でも東海道は江戸と京都を結ぶ主街道として最も重視され、その間に五十三の宿場が置かれ、各宿場には人足100人と馬100疋を常備することになっていました。

このように、江戸時代から街道を中心とした街づくりが行われました。日本橋を起点とする五街道が原点となって、現在の道路交通網が形成されました。



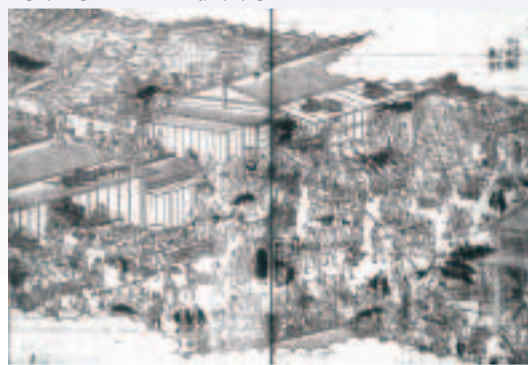
参考文献：武部健一著『道のはなし』(1992、技報堂出版)

日本橋魚河岸 (にほんばしうおがし)

日本橋魚河岸は、本船町(ほんふなちよう)・本小田原町(ほんおだわらちよう)・長京町(ながはまちよう)・安針町(あんじんちよう)を中心とする日本橋と江戸橋間の日本橋11沿岸一帯にありました。

天正18(1590)年、徳川家康が江戸入りした際、以前本能寺の変で苦難に落ち込んだ家康を漁民達が助けたという事から、摂州国西成郡田村(現在の大阪市淀川区佃町)の名主森孫右衛門が、漁民30名あまりを率いて江戸へ移住しました。幕府から命じられて鮮魚御用人となり、鮮魚を幕府の膳所台所に供し、残った魚を本船町で一般に販売したことに日本橋魚河岸の起源があるとされています。

近代になり、日本橋が東京の中心地として栄えるとともに、魚の鉄道輸送の発達と河岸の狭さから、移転問題が起こりました。そして、大正12(1923)年の関東大震災で魚河岸が焼失したのを機に築地へと移転しました。



日本橋魚市 長谷川雪旦作『江戸名所図会』(国立国会図書館蔵)

現在の築地市場も非常に盛況で、活気にあふれています。しかしながら手狭なことから、東京都は平成24(2012)年までに、築地市場の豊洲移転を構想しています。

参考文献：『東京都の地名』(日本歴史地名体系13、平凡社)

リサイクル

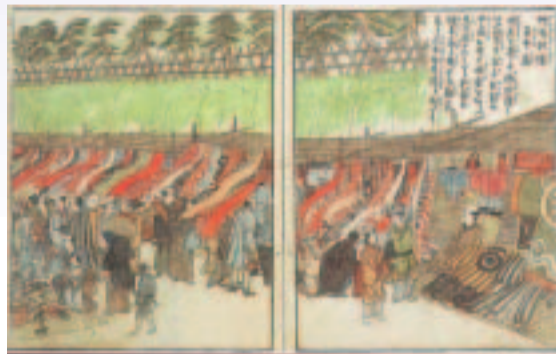
江戸時代は大規模なリサイクル社会であり、日常生活のなかで、ものを最後まで使いきる工夫が根付いていました。

資源リサイクルの例では、紙の再利用が挙げられます。不要になった古紙は古紙買い、反古紙(ほごし)買い、紙くず買いなどと呼ばれる業者が買い集め、ほとんどが再生紙となりました。江戸では古原に近い浅草山台(あさくささんや)付近に紙の漉き返し職人が多く、「浅草紙」と呼ばれて親しまれました。

また古紙を三、四枚重ねて張り合わせ、柿渋を塗ると和紙ができました。湿気に強く防虫効果もあったため、日よけや敷紙、荷づくり用に多く活用されていました。

このように、江戸時代のリサイクルシステムは、消費が拡大する現代社会でも、見習うべき点が多くあります。

参考文献：大石学「リサイクルの仕組み」(『江戸時代館』小学館、所収)



古着売り『猿蓑江戸備覧記』(財団法人東洋文庫蔵)



紙くず買い『守貞謄稿』(国立国会図書館蔵)

| | | | |
|--------------|--------------------|------------------|---------------|
| 日本橋美人新聞 増刊参号 | 企画：日本橋美人推進協議会 | 発行：NPO法人 東京中央ネット | 協賛：株式会社 乃村工藝社 |
| 発刊 | 制作：株式会社 ヤマダクリエイティブ | プロデュース：山田晃子 | 三輪祐見 |

制作：(株)建設技術研究所 国土文化研究所
協力

◆ 日本橋美人提唱者 山田晃子が語る日本橋美人ブランド ◆

毎日の生活のなかで食生活を大切に、身体の中から美しさを放つ日本橋美人になりましょう。



契約生産者から選りすぐりの素材を取り寄せ、化学調味料や添加物を一切使用してないので安心していただける逸品です。

「日本橋美人江戸前手むきあさり」には、貧血予防の効果があるといわれているタウリンが含まれています。ビタミン、ミネラルの宝庫といわれる海苔に太陽光を当てて、アミノ酸を増やし旨味を引き出した「日本橋美人江戸前生のり」。

「日本橋美人佳胡麻おかふりかけ」は、α-リノレン酸を含む国産の佳胡麻と、美肌効果のある魚のコラーゲンを配合。

「日本橋美人江戸前手むきあさり」には、貧血予防の効果があるといわれているタウリンが含まれています。ビタミン、ミネラルの宝庫といわれる海苔に太陽光を当てて、アミノ酸を増やし旨味を引き出した「日本橋美人江戸前生のり」。

「日本橋美人佳胡麻おかふりかけ」は、α-リノレン酸を含む国産の佳胡麻と、美肌効果のある魚のコラーゲンを配合。

「日本橋美人江戸前手むきあさり」には、貧血予防の効果があるといわれているタウリンが含まれています。ビタミン、ミネラルの宝庫といわれる海苔に太陽光を当てて、アミノ酸を増やし旨味を引き出した「日本橋美人江戸前生のり」。

「日本橋美人佳胡麻おかふりかけ」は、α-リノレン酸を含む国産の佳胡麻と、美肌効果のある魚のコラーゲンを配合。

「日本橋美人江戸前手むきあさり」には、貧血予防の効果があるといわれているタウリンが含まれています。ビタミン、ミネラルの宝庫といわれる海苔に太陽光を当てて、アミノ酸を増やし旨味を引き出した「日本橋美人江戸前生のり」。

「日本橋美人佳胡麻おかふりかけ」は、α-リノレン酸を含む国産の佳胡麻と、美肌効果のある魚のコラーゲンを配合。

「日本橋美人江戸前手むきあさり」には、貧血予防の効果があるといわれているタウリンが含まれています。ビタミン、ミネラルの宝庫といわれる海苔に太陽光を当てて、アミノ酸を増やし旨味を引き出した「日本橋美人江戸前生のり」。

「日本橋美人佳胡麻おかふりかけ」は、α-リノレン酸を含む国産の佳胡麻と、美肌効果のある魚のコラーゲンを配合。

「日本橋美人江戸前手むきあさり」には、貧血予防の効果があるといわれているタウリンが含まれています。ビタミン、ミネラルの宝庫といわれる海苔に太陽光を当てて、アミノ酸を増やし旨味を引き出した「日本橋美人江戸前生のり」。



徳川家康が摂州から移住させ佃島に住ませた漁民たちは、魚介・野菜・海苔などを醤油・みりん・砂糖で味濃く煮て保存食にする伝統的な技術を持っていました。それが佃煮の発祥と言われ、現在では栄養豊かな健康食品として、また女性の美容食としても注目されています。

遠忠食品

shop data

- 日本橋開設日 1・30・10
- 営業時間 9時〜17時
- 定休日 日
- TEL 営業・工場 04-98-988-0710
- URL 営業・工場 04-98-988-0710
- http://www.sano.co.jp